

苫東環境コモンズの  
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野のSPIRIT

## コモンズの視線

ニュースレター「第17号」をお届けします。当NPO恒例のハスカップ摘みは、今年は7月16日に開催しました。昨年、一昨年と不作だったのでもう参加をやめた方もいたようですが、なんと待ちに待った大豊作で、駐車場の周りだけで数kg採取した方や、ご夫婦で10kg近く採ったメンバーも出たほど。前の週に立地企業の家族400人ほどが採集した後にもかかわらずこの収量。めでたい限りです。

自生地のハスカップ・サンクチュアリは一部が遊水地から外れることがわかり、GPSの調査地は工事個所に重なる可能性が出てきました。移植はいくらでもできますが、群落はどうか。ここだけの大群落をそのまま保全する方法はないのか。そこに注意を払っていききたいところです。遊水地の検討委員になっている市民の代表もいらっしゃるはずですが、「市民のアイデンティティ」と呼ばれ始めたハスカップの「ほかにない希少な大群落」へのこだわりはなかったのか、それともあったのか。

ホームページのアドレスが下記に変更になりました。

(事務局：草薙) [新しいホームページのアドレス http://hayashi-kokoro.com](http://hayashi-kokoro.com) 雑木林&庭づくり研究室

## TOPIC 1

### 薪づくり、8月までずれ込んで完了



安平町遠浅にある大島山林の保育間伐が足かけ8年目になりました。NPO立ち上げ後、除伐や間伐した材で薪になるものを玉切りして割って、会員用に薪生産してからは6シーズン目。今季は見かけの材積では64.8立法m、一軒の薪利用者の通常の消費単位「棚」でいけば24棚、一軒で2棚使いますから12軒分ができたということになります。

ナラばかりでなく桜やイタヤや、少し腐れも交じったシラカバなども混み込みの薪で、細い枝まで割りますから、正直なんとも手間がかかります。今年も積み終わったのが8月上旬でした。

一方、ロコミで薪の申し込みが多くなりお断りせざるを得ない状況。贅沢なナラだけではなく、いろいろなものが混じっていて逆に楽しい、という評判もあり、当面は作業効率を上げて頑張るつもり。

## TOPIC 2

### 「帯広の森」で研修会

今年の森づくり研修は7月2日土曜日の午後、「帯広の森」を訪問しました。「帯広の森」はウィーンの森を手本にした約400ヘクタールの都市林で、面積やグレードの高さでは北海道を代表する人工的な森林といえます。当日は、「帯広の森」の管理施設「はぐく〜む」に勤務する日月（たちもり）さんに案内してもらい、この日の午後だけで約1万歩を歩き廻りました。



「帯広の森」は40年代から市民の植樹会で造林が進められてきましたが、造林は終わり近年は育てる段階に入って市民グループが思い思いの方針に基づき手入れが進められています。これは苫東における育林コンペによく似ており、苫東はひとり1区画0.5ヘクタールがあてがわれるというのが相違点。地域事情によって、さまざまな取り組みが誕生するという好例といえます。

## TOPIC 3

### 林に町内の人を呼ぶイベントを次々と



大島山林は遠浅町の住宅地と隣接し、森林はコモンス的に開放されてきたことから町内会に森林が附属しているかのような構図になっています。しかし、せっかく森林の手入れが進み、フットパスなどが徐々に整備

されてきたにも拘らず、町内の人で森林散策などを楽しんでいるのは極めて限られた方のみでした。

NPOではこのような現状を顧みて、今シーズンから「人と林を近づけるイベント」を実施することにしました。その手始めが4月30日の探鳥会。折からの強風で子供たちの参加はなかったものの10数人の探鳥会になりました。

林に親しむイベントはこのあと6月27日、精神科医・瀧澤紫織先生(当NPO代表理事)の講演会『緑に親しんで健康長寿』を遠浅公民館で開催。認知症予防にも効果的な森林散策が紹介されました。また9月17日には「きのこ採集と食毒判別会」も開催し、今後とも林の魅力を町内にPRしていく考えです。

## TOPIC 4

### 前田一步園の助成活動報告会



27年度はハスカップの現地調査と開拓農家などの関係者への聞き取り調査について、前田一步園財団から活動助成をいただきましたが、その活動報告会が7月9日、札幌のホテルポールスターで開催され、事務局・草薙が19団体の16番目に、「勇払原野における自生ハスカップの今昔を可視化する～分布調査及び採取の記憶ヒアリング～」と題して15分にわたって発表を行いました。

## TOPIC 5

### 北大・松田名誉教授ら、森の取扱いで所見



蚊が多くなった7月20日、北海道の森の扱いについて極めて深い造詣を持たれる松田彊氏および矢島崇氏のお二人の名誉教授が苫東の林に來られました。このような豪華キャストはめったに望めないチャンスだけに、苫東会社と苫東コモンズが目指している萌芽再生林の里山の景観維持作業について、現状の見方、施業の進め方などいろいろな角度からズバリ聞きました。

もっともキーポイントになるのは「萌芽再生林」を択伐だけで世代交代させていく(つまり皆伐しないで)

方法。教授らは、かなり強度の間伐を行っても樹冠の拡大は早く、間もなく上空はふさがって照度は下がってしまうから、かく乱や実生苗の植え込みなどで補完する必要があるだろう、とのアドバイスを受けました。林の扱いと持続可能な方法については状況をみながらこれからも助言をいただく予定です。

## 28年4月からの活動報告

各行事末尾の数字は参加者数

- 4/15 sat 第15回理事会 6
- 4/16 sat 薪割り ⑩ 8
- 4/23 sat " ⑫ 12
- 4/30 sat 遠浅町内会探鳥会 16⇒9:30 薪割り⑦13
- 5/7 sat 薪づくり⑧6 & ハスカップ現地調査
- 5/8 sun 割り、薪積み、視察の案内
- 5/14 sat " ⑨ 5
- 5/21 sat 薪割り&薪積み⑩+山菜採りレクに1時間6+ハスカップ踏査
- 5/28 sat 薪割り薪積み⑪5+ハスカップ踏査②
- 6/05 sun 薪割り薪積み⑫ 4
- 6/11 sat " ⑬+船木、高橋両氏さんに薪届け 6
- 6/13 mon ハスカップ元道新 OB 奥津さんにヒアリング@開発協会
- 6/18 sat 薪割り薪積み⑭6
- 6/24 fri 大島、小屋、サンクチュアリの刈り払い 1
- 6/27 mon 認知症予防と森林セミナー「緑に親しんで健康長寿」講師；瀧澤先生@遠浅公民館 an9:30~25
- 7/02 sat&03 sun 森づくり研修@帯広の森 7
- 7/09 sat 遠浅と小屋の刈り払い開始 5 前田一步園財団の助成活動報告会@札幌 1
- 7/16 sat ハスカップ摘み 14?
- 7/17 sun 柏原など刈り払い&薪割り 3
- 7/20 wed 大島山林の扱い(将来木施業)で北大松田・矢島両名誉教授視察 3
- 7/23 sat 薪仕事&刈り払い 6
- 7/30 sat " 5
- 8/06 sat 薪ヤード片付けと静川小屋周りの刈り払い 3
- 8/20 sat 薪づくり作業終了に伴う作業反省会(夜) 7
- 8/23 tue 苫東柏原のモザイク間伐地とハスカップ群生地調べ(苫東担当者と事務局)
- 8/27 sat 静川の小屋清掃、小屋周り里山景観維持作業とフットパス刈り払い 6
- 9/03 sat ケアセンターの里山景観作業 6
- 9/10 sat " + トイレ移設 3

### ////////// 編集後記 //////////

■今年の夏は蚊が大量に出来ました。さらに北海道でマダニの感染死亡が報告されました。こうなると総合的にみて、不快昆虫の居る間は林の利用が進まなくても仕方がない、とあきらめに傾斜。欧州の事情なども考慮に入れて「無理もない」と覚悟が付きました。快適な時だけ利用すればいいんだ、と。

■林業など1次産業で地域起業が進む兆しが見えています。GDPにほとんど寄与しない林業ジャンルですが、放置されて産業の隙間にあったことも事実。カッコよく、安全に、かつマーケットを探す。当面は薪へのあこがれをビジネスにつなぐ可能性はありそう。当NPOも平坦な広葉樹林を扱う利点を生かし、効率的な里山の手入れと薪生産を目指していきます。(草薙)

#### お問い合わせ

NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局

草薙 [kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com)

携帯 090-6999-2765